

問4-1 オリンピックに関するボランティアに参加したいと思いませんか

	したい	したくない	どちらともいえない	無回答	計
人数	33	1	17	8	59

問4-2 どのようなボランティアに参加したいと思いませんか

	通訳	環境美化	道案内	その他	無回答	計
人数	8	19	22	11	20	80

問4-3 地元、片瀬・江の島地域としてできる「おもてなし」として、どのようなことが考えられますか

- 市民企画による文化交流など、市民提案型の企画を行政がサポートして欲しい。
 - 藤沢市観光協会とタイアップして、記念切手の発行を計画中
 - 真夏なので、熱中症対策のおもてなし
 - 江ノ島駅、片瀬江ノ島駅～大会場への道路上で歓迎、暑さ対策/医療施設の明示
 - 片瀬地区出身の南流石さんにオリンピックダンスを作ってもらえば？
 - 継続的なブランディングを行い、全員参加意識を出す。
- 来ていた方の満足度+新たな発見・感動があると良い。1964年との比較が分かるような案内図。多言語案内
- 国内、国外からのお客様が困らないようなきめ細かなご案内
 - 弁天橋の混雑をスムーズに歩けるよう、案内が重要
 - 各学校で道案内の英会話指導を行い、駅から会場までのシンプルな案内ができるようにしてはいかがでしょうか。
 - セーリング会場までのアクセスの利便性と美的環境を整える。

問5 地区集会で今後とりあげてほしいテーマ

- 災害時を含めた独居世帯のケア
 - 今、地区での問題は何か？とみんなで考える集会
 - 過去大会の市民ボランティアでもっとも成功している
- 好例を基に、藤沢市の取組の具体化、全体像把握等
- ボランティアの活動深化を図るべき。
 - 今日の内容に引き続き、準備状況の情報を。

問6 その他、日頃感じている地域の課題・ご意見について

- 地域活動に若い世代がどう関わっていくのか。
- 川名まで開通している県道の早期開通。災害時の避難に必要
- 江の島にごみ箱がとてもなく、残念ながらポイ捨てが増えています。吸い殻もとても多いです。
- 片瀬東浜交差点の信号ですが、歩行者専用の時間を取るようにしてはどうか？
- 町内会役員の担い手がいらない。
- スバナ通りをもっと情緒的な雰囲気。
- 国際観光都市としてのインフラ整備や文化度アップが必要
- 市民になって日が浅い。色々な会に参加しやすい環境を作りたい。

地区集会にご参加いただき、ありがとうございました。アンケートでいただいたご意見につきましては、担当課の開催準備室に提供する他、今後の協議会活動・地区集会の参考といたします。

市民自治推進課からお知らせ ～片瀬山市民の家再整備事業について～

平成29年度第1回地区集会を「片瀬山市民の家再整備事業について」開催いたしました。その後について、市民自治推進課から以下のとおり説明がありましたので、お伝えします。

平成29年5月20日に片瀬市民センターにおいて開催された片瀬・江の島まちづくり会議の第1回地区集会において、片瀬山幼稚園跡地を活用した片瀬山市民の家再整備の事業概要等を説明させていただきましたが、当初予定していた事業開始時期を基本的に1年延期したいと考えております。

また、事業の延期に伴い、コミュニティ拠点施設換

討会議委員の募集や立ち上げについても同様に、現段階では平成30年度からの事業とさせていただきます。

なお、基本構想・基本設計・実施設計の策定についても同様とし、建設工事も平成34年度以降とさせていただきますのでご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします（市民自治推進課）。



第二十九号
発行日 2017年(平成29年)12月10日
発行 片瀬・江の島まちづくり協議会
発行人 長谷川 紀夫
事務所 片瀬市民センター内
電話:0466-27-2711 FAX:0466-25-8907
電子メール:fj-kata-c@city.fujisawa.lg.jp
片瀬地区ポータルサイト
http://fujisawa-katase.ecom-plat.jp/

特集 まちづくり地区集会レポート みんなで考えよう！ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

10月24日(火)午後6時30分から片瀬市民センターにて、平成29年度第2回地区集会を行いました。当日は60人を超える方々が参加され、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」について、市担当課の「東京オリンピック・パラリンピック開催準備室」から説明を受け、質疑応答、意見交換を行いました。

「1964年オリンピック東京大会記録映像上映会」
〈第1部〉「東京2020大会に向けた準備状況と今後の予定」
〈第2部〉「東京2020大会に向けた市民参加に関する取組」



東京オリンピック・パラリンピック開催準備室松崎室長から



この度は、片瀬・江の島地区の地区集会におきまして、オリンピック・パラリンピックをテーマに開催していただき、誠にありがとうございました。

藤沢市では、2020年の大会を、一人でも多くの市民の皆様様々な形でご参加いただけるよう、そして大会後には、「素晴らしい大会であった。開催してよかった。」と市民の皆様

一つとして、(仮称)市民応援団の立ち上げを予定しています。

(仮称)市民応援団は、様々な形で市民の皆様が大会に関われるよう市民参加型のオリンピック・パラリンピックの実現を目的として設立するものです。来年3月には、設立イベントを開催できるよう現在準備をしていますので是非ご期待ください。

次に、施設整備や大会運営についてであります。夏場のトップシーズンということもあり、市民生活に様々な影響があるものと考えておまして、渋滞対策や防犯、自然災害やテロ対策など、市民の皆様安心・安全のため、各関係機関と連携し、今後も準備を重ねてまいります。

心から思っていただけのような様々な準備を進めています。

オリンピックへの参加方法として、代表的なものにボランティアがあります。オリンピック・パラリンピックでは、ボランティアの活躍が大会成功のカギを握るとも言われるほど、重要な存在です。ボランティアは、来年の夏頃からの募集が予定されていますので、是非ご応募いただければと思います。また、年明けの1月からは、ボランティアに関連したフォーラムや講座などを開催します。これらの情報は、今後、市の広報やホームページ等でお知らせいたしますので、是非ご確認いただければと思います。

本市では、ボランティアの他に、大会への参加手法の

結びになりますが、東京2020大会には、世界中から多くの来訪者が本市を訪れます。まち全体を歓迎ムードで盛り上げ、文化芸術など様々なイベントなどでお迎えしたいと考えております。

オリンピックは、世界のトップアスリートが4年に一度競い合う世界最高の舞台です。オリンピックが地元片瀬・江の島地区で開催されるというまたとない機会です。皆様には、2度目となるオリンピックの盛り上がり、臨場感を是非とも体感していただき、大いに楽しんでいただけたらと思います。

大会の成功に向けまして、今後ともお力添えをよろしく願っています。

第1部 東京2020大会に向けた準備状況と今後の予定

市の説明概要

- オリンピックは7月24日～8月9日で33競技が、パラリンピックは8月25日～9月6日で22競技が開催される。パラリンピックではセーリングは開催されない。
- 1964年東京オリンピックでは、現在の湘南港、江の島大橋と弁天橋等が整備され、他には市民有志により起草された「藤沢市市民憲章」がレガシーとして現在まで受け継がれている。

- 今回のオリンピックに向けた準備では、神奈川県が江の島大橋の3車線化、江の島弁天橋の橋面改修を行ったり、女性センター跡地を駐車場等に有効活用する。
- 東京2020大会までの主な予定として、毎年様々な国際大会が開催される。江の島もセーリングのW杯等が開催される。

意見交換・質疑応答の概要

- 弁天橋の改修に関連して、トンネル部分から橋の間はどのように取り扱っていくのか。現在も雑草が生え、ごみが散乱している。
- 現在検討中である。藤沢市でも整備する計画を立てている。ハード面だけでなく、ボランティア等のソフト面による整備も検討している。
- 観客席はどのあたりに設けられ、規模はどのくらいなのか。
- 組織委員会で検討されている。観客席は5,000席で

- 大型モニターの設置なども検討していると聞いている。決勝戦はなるべく江の島の近くにくるよう、藤沢市から提案している。
- 外国人が多く来ると思うが、テロ対策は何か検討しているか。
- テロ対策等に向けては、消防、県警、海上保安庁等と連携して取り組んでいく。

第2部 東京2020大会に向けた市民参加に関する取組

市の説明概要

- 藤沢市はオリンピックに向けた市民協働組織「未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会」を設立し、支援方針の基本的な考え方として、市民参加型の大会の推進、未来に向けたレガシーの創出、を掲げている。
- 2020年に向けた盛り上げとして、スポーツ体験教室やボランティアシンポジウムを開催してきた。
- 東京2020大会におけるボランティアとして、右表の3つに分けられる。
- 右表のボランティアとは別に、市民全員が参加できる取組として（仮称）市民応援団の活動を今年度末から開始する。
- （仮称）市民応援団は市民の発意による取組や、アイデア・提案等を実現することで、藤沢市全体として東京2020大会を応援する動きを作り出すことを目的としている。
- 市民参加型のオリンピック・パラリンピックの実現に向け、市民、関係団体、行政が一体となって取り組んでいきたい。

東京2020大会におけるボランティアの概要

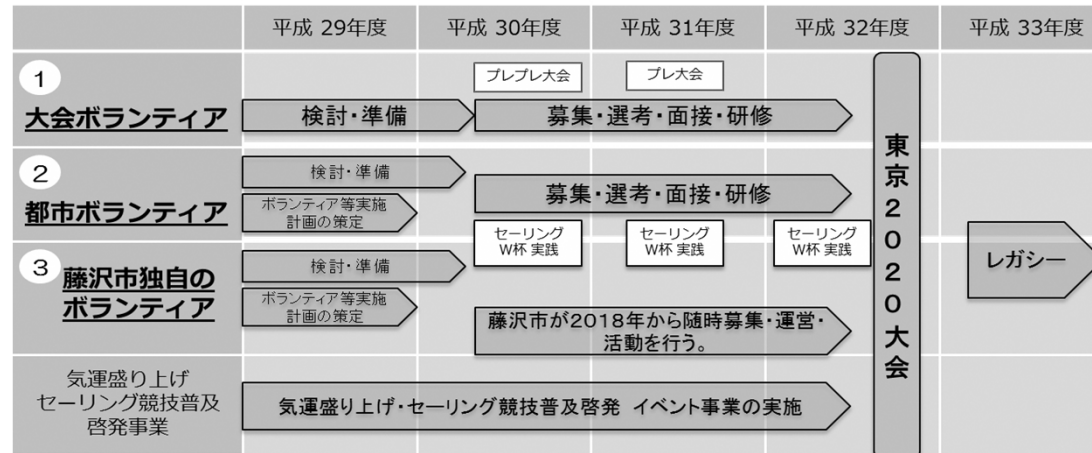
	① 大会ボランティア	② 都市ボランティア	③ 藤沢市独自のボランティア
募集運営	東京2020大会組織委員会	東京都及び競技会場の所在する自治体（神奈川県・藤沢市）	藤沢市
役割	大会期間中に各競技会場内で医療、通訳、受付等で大会運営をサポート	大会期間中に各競技会場を訪れる観戦客の交通案内や観光客への観光案内など	東京2020大会を開催準備の段階から、おもてなしの心で迎えるための様々な活動
想定人数	全競技会場合計で9万人以上を想定	8000人をベースに検討（藤沢市独自試算）	一人でも多くの市民等に参加していただく

意見交換・質疑応答の概要

- 江の島ヨット音頭について、江の島の婦人部（さざなみ会）が練習している。ヨット音頭を披露する機会等はあるのだろうか。
- 近々のイベントでは、「1,000日前イベント」で踊ってもらうことになっている。市民の方々にも広めていきたいと考えており、準備室としても支援してい

- きたい。
- セーリングは競技自体定着しているとは考えにくい。ルール等の普及を始めとした啓発活動が必要に思う。
- パンフレット作成の他、県は動画も作成している。小学生向けの資料も作成する予定なので、これらを活用しながら普及啓発活動に力を入れていきたい。

東京2020大会に向けたボランティアに関する主なスケジュール



- 平成30年度のセーリングW杯はプレレ大会と兼ねて実施される予定です。
- 表に掲載されている大会は全て江の島が会場です。

参加者アンケートの概要

問1 回答者の年代・自治町内会について

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答	計
人数	0	0	2	13	11	16	12	4	1	59

	新屋敷	片瀬山	東	西	五町	江の島	その他	無回答	計
人数	10	8	3	10	11	7	4	6	59

問2 地区集会をどのように知りましたか

	チラシ	ホームページ	口コミ	JJBC 掲示板	その他	計
人数	47	1	6	3	4	61

問3-1 東京2020大会に向けた準備状況と今後の予定について

- ①役割分担、②車のアクセス、③市の道路対策、④宿泊施設etc。上記の他に何の準備をするのか不明瞭であった。ハード面とソフト面の区別が不明
- 片瀬・江の島地区はのんびり、ゆったり暮らす人たちの町だと思っています。町並みなどあまり変えず、終わってみたら町を壊しただけにならないようにしてほしい（特に片瀬江の島駅～江の島間）。
- 検討中、準備中との市からの回答が多いが、インフラや防犯、ごみ、災害、テロ対策等、具体的な項目がいつ決定され、住民の声を反映する場の有無等、スケ

- ジュールや行程表の提示をして欲しい。あと1,000日しかない！
- 期間中の交通渋滞等の対策も聞いてみたい。
- 資料事前配布が不要くらい、とてもよく分かりました。1年後、2年後と（行政側）計画がレベルアップするのに合わせ、現時点できわめて適切なご説明でした。Q&Aは草の根的発言多く良かったです。当分は町内有識者より草の根意見が出やすいムードづくりが良いと思います。

問3-2 東京2020大会に向けた市民参加に関する取組

- 市民参加の催しの事前周知が不十分では無いか。
- 弁天橋入口の花壇を整備する件につきまして、現状の花壇ではない場所が荒れすぎているため、ボランティアの力だけでは花を植える状態にならないと思いますので、予算をいただき、きれいに花を植えられるようにしていただきたい。その状態になれば、花植え等のお手伝いしたい。
- 世代別の意見を取り入れた方がよい。特に若い世代に参加してもらおう。ボランティアガイドのHP充実、関

- わり方もそれぞれなので、軽い手伝いから深い運営まで、わかりやすく公表
- ボランティアの条件として「継続して参加できる」とあるが、社員の身分だとハードルが高いという印象です。今日の参加者の顔ぶれを見ても、年齢が少々高い方が多いのも気になります。
- もっと盛り上げるために、有名人を活用し、市民を巻き込むような対策